

振武

よく噛み、よく話し、よく笑おう

2年前に「古希」を迎え、まだまだ90歳までは頑張らなければ、という気持ちと、何か健康に役立つスポーツ(武道を)と考へた時に真っ先に頭に浮かんだのは「剣道」でした。

子供のころ心身ともに鍛えられたことが、その後の私の人格形成に大きな影響を及ぼし、その結果現在の自分があると感謝しています。



伊東 隆三 (歯科医師)

硬いもの食べ、きれいな歯並びに

それが剣道との出会いで、日曜日のたびに感じていたのが武道に興味を持ったきっかけでしょうね。

剣道場「興風館」との出会いです。私が黒髪小学校5、6年生のころと、思います。相当、悪口口だったんですよ。親父が見るにみかねて、遊ぶ時間がないように？と弟と2人を古荘先生が創設された「興風館」に連れて行き、即入門となった次第です。

古荘先生もまあお若かつたし、先輩たちとの厳しい稽古で疲れ果てた後に、あと一本、古荘先生に稽古をつけていたたくのが習わしでした。ぼくはここに打たれ、「なま」をこたえられた、壁にぶつつけられ、倒れたら体の上にもたがって胸を持ち上げ、首根っこを押さえられる、まさに地獄の稽古でした。

古荘先生もまあお若かつたし、先輩たちとの厳しい稽古で疲れ果てた後に、あと一本、古荘先生に稽古をつけていたたくのが習わしでした。ぼくはここに打たれ、「なま」をこたえられた、壁にぶつつけられ、倒れたら体の上にもたがって胸を持ち上げ、首根っこを押さえられる、まさに地獄の稽古でした。

古荘先生もまあお若かつたし、先輩たちとの厳しい稽古で疲れ果てた後に、あと一本、古荘先生に稽古をつけていたたくのが習わしでした。ぼくはここに打たれ、「なま」をこたえられた、壁にぶつつけられ、倒れたら体の上にもたがって胸を持ち上げ、首根っこを押さえられる、まさに地獄の稽古でした。

古荘先生もまあお若かつたし、先輩たちとの厳しい稽古で疲れ果てた後に、あと一本、古荘先生に稽古をつけていたたくのが習わしでした。ぼくはここに打たれ、「なま」をこたえられた、壁にぶつつけられ、倒れたら体の上にもたがって胸を持ち上げ、首根っこを押さえられる、まさに地獄の稽古でした。

古荘先生もまあお若かつたし、先輩たちとの厳しい稽古で疲れ果てた後に、あと一本、古荘先生に稽古をつけていたたくのが習わしでした。ぼくはここに打たれ、「なま」をこたえられた、壁にぶつつけられ、倒れたら体の上にもたがって胸を持ち上げ、首根っこを押さえられる、まさに地獄の稽古でした。

古荘先生もまあお若かつたし、先輩たちとの厳しい稽古で疲れ果てた後に、あと一本、古荘先生に稽古をつけていたたくのが習わしでした。ぼくはここに打たれ、「なま」をこたえられた、壁にぶつつけられ、倒れたら体の上にもたがって胸を持ち上げ、首根っこを押さえられる、まさに地獄の稽古でした。

古荘先生もまあお若かつたし、先輩たちとの厳しい稽古で疲れ果てた後に、あと一本、古荘先生に稽古をつけていたたくのが習わしでした。ぼくはここに打たれ、「なま」をこたえられた、壁にぶつつけられ、倒れたら体の上にもたがって胸を持ち上げ、首根っこを押さえられる、まさに地獄の稽古でした。

古荘先生もまあお若かつたし、先輩たちとの厳しい稽古で疲れ果てた後に、あと一本、古荘先生に稽古をつけていたたくのが習わしでした。ぼくはここに打たれ、「なま」をこたえられた、壁にぶつつけられ、倒れたら体の上にもたがって胸を持ち上げ、首根っこを押さえられる、まさに地獄の稽古でした。

古荘先生もまあお若かつたし、先輩たちとの厳しい稽古で疲れ果てた後に、あと一本、古荘先生に稽古をつけていたたくのが習わしでした。ぼくはここに打たれ、「なま」をこたえられた、壁にぶつつけられ、倒れたら体の上にもたがって胸を持ち上げ、首根っこを押さえられる、まさに地獄の稽古でした。

古荘先生もまあお若かつたし、先輩たちとの厳しい稽古で疲れ果てた後に、あと一本、古荘先生に稽古をつけていたたくのが習わしでした。ぼくはここに打たれ、「なま」をこたえられた、壁にぶつつけられ、倒れたら体の上にもたがって胸を持ち上げ、首根っこを押さえられる、まさに地獄の稽古でした。

発行元：一般財団法人 熊本公徳会
熊本市中央区 上通町2番31号
びぶれす熊日会館 6階
熊本公徳会武道場「振武館」7階
電話 096-327-2600
FAX 096-327-5221
ホームページ <https://z-kk.org>

振武館 86周年

熊本公徳会武道場「振武館」は、昭和8年3月、熊本市上通町・鎮西館の広大な敷地の一角に建てられました。「教育学問の真の目的は人格の備わった人間を養成することにある。新たな道場は振武館と名付け、文武の基礎を学び、もって人格を磨くことにある」とり、広く青少年や一般に開放されています。

振武館物語 6

あの日に、何が...

6・26水害から5か月後の昭和28年11月23日、熊本市手取本町(現在の中央区上通町)の振武館には200人余りの見学者が詰めかけました。この日、合気道の演武公開が予定され、災害後間もないのに多くの人の姿が道場にありました。

砂泊は振武館で演武公開をした翌年の昭和29年1月、「合気道を熊本に」という地元からの強い要望を受け、熊本にやってきました。30歳の時です。熊本市九品寺の一角に「合気道熊本道場」の看板がかかりました。九州における合気道誕生の曙でした。当初、古い製薬工場を借り、稽古を始めましたが翌年、振武館に

砂泊は振武館で演武公開をした翌年の昭和29年1月、「合気道を熊本に」という地元からの強い要望を受け、熊本にやってきました。30歳の時です。熊本市九品寺の一角に「合気道熊本道場」の看板がかかりました。九州における合気道誕生の曙でした。当初、古い製薬工場を借り、稽古を始めましたが翌年、振武館に

昭和28年11月23日 砂泊誠秀 熊本で合気道の極意の技初披露



振武館で合気道の妙技を披露する砂泊(右) 昭和28年11月23日、熊本日日新聞社提供

砂泊は、振武館で演武公開をした57年後の平成22年11月13日、87歳で死去。合気道の開祖・植芝盛平とともに京都で永遠の眠りについでいます。



合気道の開祖・植芝(左)と砂泊(右) 昭和36年。植芝は「九州の技が一番良い」と言った。砂泊は思った。「私の今までの苦しみは報われた」と。